

2020年8月17日~8月23日

□ 今週の暗唱聖句

民が願ねがい求もとめると主しゅはううずらをもたらしまた天てんからのパンで彼らかれを満みち足たらせた。

詩篇105:40

□ 今週のみ言葉：出エジプト記16:1~15

月 出エジプト記16:1~2

イスラエルの全会衆ぜんかいしゅうはエリムえりむから旅立たびだち、エジプトの地ちを出でて、第二だいの月つきの十五日にちに、エリムとシナイとの間あいだにあるシンの荒野あらのに入はいった。そのとき、イスラエルの全会衆ぜんかいしゅうは、この荒野あらのでモーセとアロンに向むかって不平ふへいを言いった。

火 出エジプト記16:3~5

イスラエルの子らは彼らに言いった。「エジプトの地ちで、肉鍋にくなべのそばすわに座みり、パンを満みち足たりるまで食たべていたときに、われわれは主しゅの手てにかかかって死しんでいたらよよかったのだ。事じ実じつ、あなたがたは、われわれをこの荒野あらのに導みちびき出だし、この集しゅう団だん全ぜん体たいを飢うえ死じにさせようとしている。」主しゅはモーセに言いわれた。「見みよ、わたしはあなたがたのためために天てんからパンを降ふらせる。民たみは外そとに出でて行いって、毎まい日にち、その日ひの分ぶんを集あつめなければならない。これは、彼らかれがわたしのおしえしに從したがって歩あゆむかどうかを試こころみるためである。六日むい目に彼らかれが持もち帰かえって調とえるものは、日ひごとごとに集あつめる分ぶんの二倍ばいである。」

水 出エジプト記16:6~7

それでモーセとアロンは、すべてのイスラエルの子らに言いった。「あなたがたは、夕方ゆうがたには、エジプトの地ちからあなたがたを導みちびき出だしたのが主しゅであったことを知しり、朝あさには主しゅの栄光えいこうを見る。主しゅに対するあなたがたの不ふ平へいを主しゅが聞きかれたからだ。私なんたちが何なんだというので、私なんたちに不ふ平へいを言いうのか。」

木 出エジプト記16:8~10

モーセはまた言った。「主は夕方にはあなたがたに食べる肉を与え、朝には満ち足りるほどパンを与えてくださる。それはあなたがたが主に対してこぼした不平を、主が聞かれたからだ。いったい私たちが何だというのか。あなたがたの不平は、この私たちに対してではなく、主に対してなのだ。」モーセはアロンに言った。「イスラエルの全会衆に言いなさい。『主の前に近づきなさい。主があなたがたの不平を聞かれたから』と。」アロンがイスラエルの全会衆に告げたとき、彼らが荒野の方を振り向くと、見よ、主の栄光が雲の中に現れた。

金 出エジプト記16:11~12

主はモーセに告げられた。「わたしはイスラエルの子らの不平を聞いた。彼らに告げよ。『あなたがたは夕暮れには肉を食べ、朝にはパンで満ち足りる。こうしてあなたがたは、わたしがあなたがたの神、主であることを知る。』」

土 出エジプト記16:13

すると、その夕方、うずらが飛んで来て宿営をおおった。また、朝になると、宿営の周り一面に露が降った。

主日 出エジプト記16:14~15

その一面の露が消えると、見よ、荒野の面には薄く細かいもの、地に降った霜のような細かいものがあつた。イスラエルの子らはこれを見て、「これは何だろう」と言い合った。それが何なのかを知らなかったからであった。モーセは彼らに言った。「これは主があなたがたに食物として下さったパンだ。」